

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	スポーツ推進委員活動事業			事務事業コード	30490100
概要	スポーツ推進委員は、非常勤特別職として教育委員会から委嘱されており、資質向上のため、各種会議・研修会に参加する。				
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
	施策	49	スポーツ活動の支援	事業類型	法定事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和47年度～	見直しの裁量
根拠法令等	スポーツ基本法、府中市スポーツ推進委員に関する規則				
市関連事業					
対象	スポーツ推進委員				
実施の背景	スポーツ推進委員は、非常勤特別職として教育委員会から委嘱され、活動（定数25人以内、任期2年）する。また、地域スポーツの課題に関する実践報告・発表や情報交換などに参加して、資質向上を図る必要がある。				
事業目標	市のスポーツ振興のコーディネーターとして、スポーツ教室、レクリエーション事業の企画運営、地域スポーツ活動の指導助言・連絡調整をする。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 市のスポーツ振興のコーディネーターとして、スポーツ教室、レクリエーション事業の企画運営、地域スポーツ活動の指導助言及び連絡調整を行う。 スポーツ推進委員の資質向上を図るため、関東スポーツ推進委員研究大会や東京都スポーツ推進委員協議会にスポーツ推進委員を派遣している。 				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>市のスポーツ振興のコーディネーターとして、スポーツ教室、レクリエーション事業の企画運営、地域スポーツ活動の指導助言、スポーツ指導者の育成を行った。</p> <p>平成27年度のスポーツ推進委員は21人であり、各種講習会や東京都のスポーツ大会等に11件延べ54人を派遣している。</p>	平成27年度は委員の改選の時期であり、年齢等の制限もあることから、結果的に委員の定数を満たせていない。しかしながらそのような現状でも、委員の活動については、全市的なスポーツ事業の企画・運営など、多岐に渡る活動を精力的に協力いただいた。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
市のスポーツ振興のコーディネーターとして、スポーツ教室、レクリエーション事業の企画運営、地域スポーツ活動の指導助言、スポーツ指導者の育成を継続して行う。	通常の活動に加え、スポーツ推進委員近隣7市（本市を含む）で実施している第9ブロック研究大会を通して、地域のスポーツ推進委員活動に関する諸問題解決のための方策の検討を行い、スポーツ推進委員の資質向上を図るとともに、広域的な連携協調を図り、必要なスポーツ振興の在り方を考えて行く場の提供を行う。また、オリンピック・パラリンピックの開催が近づいてくることを踏まえ、本市における障害者スポーツの認知度の向上の方策を検討していく。	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>市のスポーツ振興のコーディネーターとして、スポーツ教室、レクリエーション事業の企画運営、地域スポーツ活動の指導助言、スポーツ指導者の育成を行った。</p> <p>平成28年度のスポーツ推進委員は20人であり、各種講習会や東京都のスポーツ大会等に18件延べ62人を派遣している。</p>	平成28年度は委員定数を満たせていない現状ではあったが、そのような現状でも、委員の活動については、全市的なスポーツ事業の企画・運営など、多岐に渡る活動を精力的に協力いただいた。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
市のスポーツ振興のコーディネーターとして、スポーツ教室、レクリエーション事業の企画運営、地域スポーツ活動の指導助言、スポーツ指導者の育成を継続して行う。	通常の活動に加え、スポーツ推進委員近隣7市（本市を含む）で実施している第9ブロック研究大会を通して、地域のスポーツ推進委員活動に関する諸問題解決のための方策の検討を行い、スポーツ推進委員の資質向上を図るとともに、広域的な連携協調を図り、必要なスポーツ振興の在り方を考えて行く場の提供を行う。また、オリンピック・パラリンピックの機運醸成に合わせ、市民誰もがスポーツに親しめるよう、年齢や体力に合わせた体験教室等の実施を検討していく。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	現状においても、スポーツに対する市民の関心を高めるといふ大きな役割を担っていることから、大幅な見直しは必要ないと考えている。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	数値の比較や推移で評価することがなされないため、特に指標の設定は行わない。
			補正值	-	-	-	-	
			実績	-	-	-	-	
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	
			補正值	-	-	-	-	
			実績	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	3,825,000	3,772,000	3,814,000	3,717,000	3,692,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	2,500,000	0	0	0	0	0
一般財源	1,325,000	3,772,000	3,814,000	3,717,000	3,692,000	0
予算現額	3,825,000	3,767,000	3,814,000	3,710,000	0	0
決算額	2,969,469	3,081,516	3,413,910	3,241,293	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,969,469	3,081,516	3,413,910	3,241,293	0	0
執行率	77.6%	81.8%	89.5%	87.4%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.58	1.03	1.02	1.02		
職員人件費	4,664,160	7,819,961	7,947,068	7,948,353		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	124,626	257,583	234,460	243,334		
総コスト	7,758,255	11,159,060	11,595,438	11,432,980	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

<p>これまでの主な取組と成果</p> <p>○スポーツ推進委員を委嘱し、各文化センター圏域でのスポーツの生活化の推進や、全市的なスポーツの振興を図った。 ○毎年、関東スポーツ推進委員研究大会等へスポーツ推進委員を派遣し、当面する生涯スポーツの諸問題について研究協議や情報交換を行うことにより、スポーツ推進委員及び担当職員の資質向上と地域スポーツの振興等を図った。</p>
<p>今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）</p> <p>本市のスポーツ振興には、スポーツ推進委員の協力が不可欠であることから、今後も継続して資質向上の支援を行い、スポーツの推進を目的とした事業の実施に係る連絡調整、並びに市民に対するスポーツの実技指導や、その他スポーツに関する指導及び助言を行ってもらう。</p>

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	05	1627500	スポーツ推進委員活動費	3,621,000	3,159,793	3,599,000
2	01	50	35	05	1631000	負担金 関東スポーツ推進委員研究大会	5,000	5,000	5,000
3	01	50	35	05	1632000	負担金 東京都スポーツ推進委員協議会	81,000	66,500	78,000
4	01	50	35	05	1633000	負担金 第9ブロック研究大会	10,000	10,000	10,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							3,717,000	3,241,293	3,692,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	社会体育指導者育成事業			事務事業コード	30490200
概要	コムスポリーダー、ジュニアスポーツ指導者等に講習会、研修会を行う。				
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
	施策	49	スポーツ活動の支援	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等	スポーツ基本法				
市関連事業					
対象	市民、コムスポリーダー、ジュニアスポーツ指導者、スポーツ推進委員				
実施の背景	市民スポーツの多様化に対応できる指導者の育成が重要であり、指導者の資質向上を図るため。				
事業目標	指導者の資質が向上することにより、スポーツイベント、スポーツ教室や地域体育館自主事業での活動が活発になることで、スポーツタウン府中の実現につながる。				
事業内容	各種ボランティア指導者（コムスポリーダー、ジュニアスポーツ指導者等）の資質向上を図り、市民スポーツを振興するため、講習会、研修会を行う。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
ジュニアスポーツ指導者講習会 2回、参加者 延べ73人 スポーツ推進委員内部研修会 1回、参加者 15人 コムスポリーダー登録講習会 2回、参加者 延べ6人 コムスポ協力者研修会 1回、参加者 30人 市民スポーツ公開講座 1回、参加者 23人	スポーツ推進委員及びスポーツ指導者等の資質向上が図れ、市民スポーツの振興につながった。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
スポーツ指導者講習会 2回 スポーツ推進委員内部研修会 1回 コムスポリーダー登録講習会 2回 コムスポ協力者研修会 1回	実施に当って、時代や状況に即した、資質向上につながる研修や講習会の内容について検討を図っていく

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
ジュニアスポーツ指導者講習会 2回、参加者 延べ52人 コムスポリーダー登録講習会 1回、参加者 6人 コムスポ協力者研修会 1回、参加者 26人 スポーツ推進委員障害者スポーツ研修会 1回、参加者 21人	スポーツ推進委員及びスポーツ指導者等の資質向上が図れ、市民スポーツの振興につながった。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
スポーツ指導者講習会 3回 スポーツ推進委員内部研修会 1回 コムスポリーダー登録講習会 1回 コムスポ協力者研修会 1回 スポーツ推進委員障害者スポーツ研修会 3回	実施に当って、時代や状況に即した、資質向上につながる研修や講習会の内容について検討を図っていく

平成30年度における事業の位置付け		各種講習会、研修会を実施することによって、スポーツ推進委員、コムスポ協力者などの資質の向上が図れている。	
A 重点化・拡大して継続	B		
B 現状のまま継続			1 大幅な見直しは必要ない
			2 見直しには法令等の改正が必須
			3 見直しの必要性はあるが時期尚早
	4 現状では見直しが不可能		
C 見直して継続	1		
			1 見直し・縮小
			2 他事業との整理・統合
D 休止・廃止等			
		1 休止	
		2 廃止	
		3 完了	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度		
講習会、研修会の実施回数	7	計画 当初値	7	7	7	7	7	コミスポリーダー登録講習会の一部である普通救命講習を、平成28年度から登録希望者の希望日で受講できるよう、消防署で開催している講習会へ参加する形式に変更したことに伴い減。
		計画 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	回	実績	6	7	5	-	-	
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	531,000	504,000	479,000	455,000	443,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	531,000	504,000	479,000	455,000	443,000	0
予算現額	531,000	504,000	479,000	455,000	0	0
決算額	378,494	364,972	316,850	329,196	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	378,494	364,972	316,850	329,196	0	0
執行率	71.3%	72.4%	66.1%	72.4%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.11	0.11	0.11	0.11		
職員人件費	884,582	843,329	857,037	857,175		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	23,636	27,778	25,284	26,242		
総コスト	1,286,712	1,236,079	1,199,171	1,212,613	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
各種講習会、研修会を実施し、スポーツ推進委員をはじめ、コミスポ協力者などの資質の向上を図った。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
時代とともに、指導者のコーチングの手法も変化してきている。選手のやる気を引き出すためにも、指導者の育成が重要となっている。今後においても継続して指導者の資質向上を図る必要がある。

6 構成事業一覧

(単位：円)

行	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	1636000	社会体育指導者育成事業費	455,000	329,196	443,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							455,000	329,196	443,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	スポーツの生活化推進事業			事務事業コード	30490300
概要	地域の団体が行う各種行事等へ指導者を派遣、コミュニティ協議会へ事業委託、総合・地域体育館の教室等運営。				
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
	施策	49	スポーツ活動の支援	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等	スポーツ基本法、スポーツ基本法施行令				
市関連事業					
対象	市民（在勤・在学を含む）				
実施の背景	市民が日常生活の中にスポーツを取り入れて、継続的にスポーツ活動に親しむことができるよう、指導者の派遣やスポーツ教室等を実施している。				
事業目標	市民が自主的にスポーツ活動ができるようにすると共に、身近な場所でスポーツに親しむことができるようする。				
事業内容	地域の団体が行う各種行事等へ指導者を派遣するとともに、文化センターコミュニティ協議会へ事業を委託する。また、スポーツ教室の開催や総合・地域体育館での様々な年代を対象とした各種教室を行う。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
指導者派遣事業 10回 スポーツの生活化推進事業 文化センターコミュニティ協議会11団体 スポーツ教室運営事業 参加者 延816人 スポーツ活動運営事業 参加者 延68,983人	体育館等でスポーツ活動を活発にするため、管理備品の更新を行った。また地域の団体が行う各種行事等へ指導者の派遣をし、各文化センターコミュニティ協議会への事業の委託をすることで、定期的にスポーツに親しむ「機会」と「場」の提供が図られ、日常生活へのスポーツ定着が推進されたと考えている。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
指導者派遣事業 12回 スポーツの生活化推進事業 文化センターコミュニティ協議会11団体 スポーツ教室運営事業 参加者 延900人 スポーツ活動運営事業 参加者 延70,000人	体育館において、スポーツ活動を滞りなく行えるようにするために管理備品の更新を行い、スポーツの生活化を図る。また、定期的にスポーツに親しむ「機会」と「場」を提供することで、日常生活へのスポーツ定着を推進していく。

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
指導者派遣事業 13回 スポーツの生活化推進事業 文化センターコミュニティ協議会11団体 スポーツ教室運営事業 参加者 延1,141人 スポーツ活動運営事業 参加者 延68,737人	体育館等でのスポーツ活動を活発にするため、管理備品の更新を行った。また地域の団体が行う各種行事等へ指導者の派遣をし、各文化センターコミュニティ協議会への事業の委託をすることで、定期的にスポーツに親しむ「機会」と「場」の提供が図られ、日常生活へのスポーツ定着が推進されたと考えている。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
指導者派遣事業 12回 スポーツの生活化推進事業 文化センターコミュニティ協議会11団体 スポーツ教室運営事業 参加者 延900人 スポーツ活動運営事業 参加者 延70,000人	体育館において、スポーツ活動を滞りなく行えるようにするために管理備品の更新を行い、スポーツの生活化を図る。また、定期的にスポーツに親しむ「機会」と「場」を提供することで、日常生活へのスポーツ定着を推進していく。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	継続した文化センターコミュニティ協議会への事業委託と、総合・地域体育館の教室等の実施によって、スポーツの生活化が浸透してきている。また、地域の団体が行う各種行事等への指導者派遣も定着してきているが、さらなる利用拡大を図るため周知を継続していく。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
指導者派遣事業の派遣回数	12	計画 当初値	12	12	12	12	12	平成27年度の指導者派遣事業の派遣回数は計画値を下回ったが、毎年ほぼ一定数の派遣はできていることから、スポーツの生活化は図られてきているものと考えている。
		計画 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	実績	14	10	13	-	-		
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要性は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	15,489,000	15,789,000	15,465,000	14,595,000	14,971,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	1,553,000	1,554,000	1,554,000	1,628,000	1,628,000	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	12,500,000	0	0	0	0	0
一般財源	1,436,000	14,235,000	13,911,000	12,967,000	13,343,000	0
予算現額	15,489,000	15,789,000	15,465,000	14,595,000	0	0
決算額	14,666,780	15,233,975	15,160,028	14,284,821	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	1,542,000	1,551,000	1,623,000	1,650,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	13,124,780	13,682,975	13,537,028	12,634,821	0	0
執行率	94.7%	96.5%	98.0%	97.9%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.31	1.31	1.30	1.30		
職員人件費	10,454,152	9,966,617	10,128,616	10,130,254		
嘱託員数	0.5	0.5	0	0		
嘱託員人件費	1,619,039	1,675,362	0	0		
(間接経費)						
間接経費	386,111	453,690	298,822	310,132		
総コスト	27,126,082	27,329,643	25,587,466	24,725,207	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
総合・地域体育館で体操教室等を実施し、地域の団体が行う各種行事等へ指導者の派遣を行い、文化センターコミュニティ協議会へ事業の委託をすることで、スポーツの生活化の浸透を図っている。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
利用に支障をきたさぬよう費用対効果を検討しながら、体育館における管理備品の更新を行う必要がある。また、指導者派遣事業を多くの団体に利用していただけるよう、更なる周知に努める。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	1637000	スポーツの生活化推進事業費	1,377,000	1,273,704	1,751,000
2	01	50	35	10	1639000	市民スポーツ教室運営費	200,000	177,486	200,000
3	01	50	35	25	1644000	総合体育館スポーツ活動運営費	4,666,000	4,660,422	4,666,000
4	01	50	35	25	1645000	地域体育館スポーツ活動運営費	8,352,000	8,173,209	8,354,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							14,595,000	14,284,821	14,971,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	社会体育奨励事業			事務事業コード	30490400
概要	選手派遣・強化をはじめ、スポーツ団体への支援などを行うことにより、スポーツの振興を図る。				
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
	施策	49	スポーツ活動の支援	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等	スポーツ基本法、府中市スポーツ活動奨励事業援助に関する要綱				
市関連事業					
対象	市民、スポーツ団体、東京都市町村総合体育協会連合				
実施の背景	スポーツの競技力向上により、スポーツ振興を図るため。				
事業目標	都民大会等選手派遣をはじめ、スポーツ団体や個人への支援などを行うことにより、スポーツの振興を図る。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・都民大会等への市代表選手の派遣・強化について、府中市体育協会に委託している。 ・スポーツ団体への支援については、市営体育施設等の会場使用料（器具使用料を含む）の負担、優勝杯、トロフィー、メダル等の寄贈、事業PRの協力、事業運営に伴う指導及び助言などを行う。 ・毎年、多摩地区の全市町村（26市3町1村）が参加して行われる、市町村総合体育大会の開催費用として、負担金を東京都市町村体育協会連合会に支出する。 				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
都民体育大会選手派遣（延524人） 市町村総合体育大会選手派遣（13種目、延279人） 市民スポーツ賞の顕彰（15個人） スポーツ団体への支援（メダル等寄贈、市内体育施設使用料援助）（延9団体）	毎年ほぼ一定数の選手を派遣できており、レベルの高い中で競技を経験してもらうことで、さらなるスポーツへの関心と、競技力の向上が図られていると考えている。また、国内外での優秀な成績を収める選手を毎年輩出できていることから、市民の競技力向上に繋がっているものと考えている。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
都民体育大会選手派遣（延500人） 市町村総合体育大会選手派遣（14種目、延300人） 市民スポーツ賞の顕彰（4個人、2団体） スポーツ団体への支援（メダル等寄贈、市内体育施設使用料援助）（延8団体）	本年度も、都民大会や市町村総合体育大会等が開催されるため、例年に引き続き、多くの市民を強化・派遣し、市民の体力向上、また競技力の向上に努める。

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
都民体育大会選手派遣（延487人） 市町村総合体育大会選手派遣（13種目、延305人） 市民スポーツ賞の顕彰（11個人、4団体） スポーツ団体への支援（メダル等寄贈、市内体育施設使用料援助）（延8団体）	毎年ほぼ一定数の選手を派遣できており、レベルの高い中で競技を経験してもらうことで、さらなるスポーツへの関心と、競技力の向上が図られていると考えている。また、国内外での優秀な成績を収める選手を毎年輩出できていることから、市民の競技力向上に繋がっているものと考えている。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
都民体育大会選手派遣（延500人） 市町村総合体育大会選手派遣（14種目、延300人） 市民スポーツ賞の顕彰（11個人、2団体） スポーツ団体への支援（メダル等寄贈、市内体育施設使用料援助）（延8団体）	本年度も、都民大会や市町村総合体育大会等が開催されるため、例年に引き続き、多くの市民を強化・派遣し、市民の体力向上、また競技力の向上に努める。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	都民体育大会等への選手強化・派遣については、市民の体力向上とスポーツの競技力向上のために、市と非営利活動法人府中市体育協会をはじめとした各競技団体との協働で進めており、一定の成果をあげている。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
都民体育大会選手派遣数	490	計画値 当初値	500	500	500	500	500	他の大会等との日程の関係もあるため、一概には言えないが、市民の体力・競技力向上のため、団体への働きかけを行い、目標値の派遣人数前後を維持している。
		計画値 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	実績	409	524	487	-	-		
-	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	4,888,000	6,177,000	5,889,000	5,942,000	6,898,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	4,000,000	0	0	0	0	0
一般財源	888,000	6,177,000	5,889,000	5,942,000	6,898,000	0
予算現額	4,888,000	6,174,000	5,896,000	6,071,000	0	0
決算額	4,413,862	5,607,975	5,775,909	5,991,194	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,413,862	5,607,975	5,775,909	5,991,194	0	0
執行率	90.3%	90.8%	98.0%	98.7%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.05	0.63	0.63	0.63		
職員人件費	8,363,322	4,829,976	4,908,483	4,909,277		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	223,467	159,096	144,813	150,295		
総コスト	13,000,651	10,597,047	10,829,205	11,050,766	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・都民体育大会等への選手派遣については、スポーツの競技力向上のために、本市と府中市体育協会をはじめとする各競技団体との協働で進めており、一定の成果をあげている。 ・競技力の向上に努めていることにより、世界レベルの選手の輩出にも繋がっている。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
より多くの市民に対する更なる競技力向上に向け、支援を継続していく。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	1638000	社会体育奨励費	5,412,000	5,461,194	6,368,000
2	01	50	35	10	1646000	負担金 市町村総合体育大会	530,000	530,000	530,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							5,942,000	5,991,194	6,898,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	市民スポーツ大会等運営事業			事務事業コード	30490600
概要	市民がスポーツ活動を通して、地域コミュニティや市内トップチームとの連携を図り、「スポーツタウン府中」を発展させる。				
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
	施策	49	スポーツ活動の支援	事業類型	任意事業
	事業種別	重点プロジェクト	事業開始年度	昭和33年度～	見直しの裁量
根拠法令等	スポーツ基本法、市民体育大会開催基準要項				
市関連事業					
対象	市民（市民体育大会は、在住・在勤・在学であり、アマチュア競技者。中学校対抗に参加する者は、学校長の承認のある者）				
実施の背景	日頃の活動成果を発揮する機会を提供し、市民のスポーツ活動を活発にする。また、日頃からスポーツ活動になじみのない市民に対し、スポーツに親しむ場の提供を行い、スポーツ振興を図るため。				
事業目標	スポーツ人口の増大と、青少年の健全育成、また運動機会の提供を目指す。				
事業内容	<p>▼夏季（水泳競技）・秋季（陸上競技ほか）・冬季（スキー競技）に行われる市民体育大会を実施している。</p> <p>また、スポーツ大会として、小・中学生が対象のジュニアスポーツ大会（軟式野球・サッカー等）、壮年層が対象の壮年フットボール大会、高齢者が対象の選抜軟式野球大会、市内外のチームによる府中駅伝競走大会を実施している。</p> <p>▼子ども達とトップアスリートとの交流機会の充実を図るため、市内を拠点として活動しているトップチーム等との協働により、郷土の森総合体育館やサッカー場において、ボールなどを使ってスポーツを楽しむイベント「ボールふれあいフェスタ」を開催する。</p>				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
市民体育大会（夏季大会 延1,043人、秋季大会 延16,076人、冬季大会 28人） スポーツ大会（717チーム、延6,593人） レクリエーション事業（7事業、延7,944人） 歩いて知ろうわがまち府中！（272人）	全体として、概ね計画値どおりの参加者数となっている。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
市民体育大会（夏季大会 延1,000人、秋季大会 延17,000人、冬季大会 延100人） スポーツ大会（700チーム、延6,500人） レクリエーション事業（7事業、延7,300人） 歩いて知ろうわがまち府中！（300人）	ジュニアから高齢者まで、幅広い層が参加できるスポーツ等の実施や、日ごろの練習の成果を発表できる場の提供に努める。	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
市民体育大会（夏季大会 延832人、秋季大会 延15,313人、冬季大会 延83人） スポーツ大会（648チーム、延6,271人） レクリエーション事業（7事業、延8,100人） 歩いて知ろうわがまち府中！（延655人）	全体として、概ね計画値どおりの参加者数となっている。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
市民体育大会（夏季大会 延1,000人、秋季大会 延16,000人、冬季大会 延60人） スポーツ大会（700チーム、延6,500人） レクリエーション事業（7事業、延7,700人） 歩いて知ろうわがまち府中！（450人）	ジュニアから高齢者まで、幅広い層が参加できるスポーツ等の継続実施や、日ごろの練習の成果を発表できる場の提供に努める。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	毎年多くの参加者があり、日頃の成果の発表、また、交流の場として今後も継続していく必要がある。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
スポーツ大会参加者数	5,900	計画 当初値	5,900	5,900	6,000	6,000	合計参加者数としては、横ばいである。今後も継続して運動機会の提供を図っていく。
		計画 補正值	-	6,200	6,500	6,500	
	実績	6,482	6,593	6,271	-	-	
市民レクリエーション事業参加者数	7,400	計画 当初値	7,400	7,400	7,500	7,500	
		計画 補正值	-	-	-	7,700	
	実績	7,073	7,944	8,100	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	25,261,000	26,120,000	30,293,000	30,479,000	47,234,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	8,000,000	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	24,500,000	0	0	186,000	127,000	0
一般財源	761,000	26,120,000	30,293,000	30,293,000	39,107,000	0
予算現額	25,548,000	26,123,000	30,786,000	31,626,000	0	0
決算額	25,113,257	25,874,810	30,253,903	30,516,652	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	4,127,036	6,648,419	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	187,500	260,500	0	0
一般財源	25,113,257	25,874,810	25,939,367	23,607,733	0	0
執行率	98.3%	99.0%	98.3%	96.5%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	3.38	3.38	3.36	3.36		
職員人件費	27,019,963	25,759,871	26,178,576	26,182,810		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	721,971	848,514	772,340	801,573		
総コスト	52,855,191	52,483,195	57,204,819	57,501,035	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
市のスポーツの祭典である市民体育大会は、毎年約17,000人の参加者があり、スポーツ大会においても、ジュニアから高齢者まで多くの参加者がある。どの大会も、日頃の練習の成果発表と参加者の交流の場として開催している。レクリエーション事業は、日頃スポーツ活動になじみのない市民に対し、レクリエーション的イベント体験等を通してスポーツに親しむ場を提供し、活動のきっかけ作りとして開催している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
子ども達が様々なスポーツ・レクリエーションを体験することにより、スポーツへの関心を深め、スポーツ人口の拡大に努めていく。また、スポーツ大会等においては、スポーツ競技力の向上を高める方策の検討や、種目による参加チーム数、参加者数の拡大も課題となっている。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	1640000	市民体育大会運営費	16,862,000	16,426,965	16,862,000
2	01	50	35	10	1641000	スポーツ大会運営費	6,640,000	7,670,291	19,354,000
3	01	50	35	10	1642000	レクリエーション事業運営費	2,977,000	2,975,700	7,318,000
4	01	50	35	10	1643100	歩いて知ろうわがまち府中運営費	4,000,000	3,443,696	3,700,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							30,479,000	30,516,652	47,234,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	スポーツ振興活動支援事業			事務事業コード	30490700
概要	スポーツ団体や個人に対する補助金				
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
	施策	49	スポーツ活動の支援	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和52年度～	見直しの裁量
根拠法令等	スポーツ基本法、体育団体活動事業補助金交付要綱等				
市関連事業					
対象	特定非営利活動法人府中市体育協会（以下「府中市体育協会」という。）に加盟している団体、府中市体育協会加盟団体に準ずる団体または、府中市青少年スポーツ団体、ジュニアスポーツ団体、高校生以下の個人と団体				
実施の背景	父兄や団体の負担を軽減することによって、スポーツ活動の機会増。スポーツ選手の強化、自主的・組織的な活動を図る。				
事業目標	市民対象の事業に対して、軽負担で参加できるよう事業費の一部を市が負担し、スポーツ活動の機会を増やす。また、ジュニアに対しては、父兄や団体の負担を軽減することによって、スポーツ選手の強化、自主的・組織的な活動を図る。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人府中市体育協会（以下「府中市体育協会」という。）に加盟している団体、府中市体育協会加盟団体に準ずる団体または、府中市青少年スポーツ団体の実施事業に関わる経費の補助を行う。（体育団体活動事業） ・全国・関東大会に出場する高校生以下の市内の個人・団体に補助を行う。（スポーツ大会参加） ・市内に在住する小・中学生で構成された10名以上の市民をクラブ員とし、クラブ員の健全育成のために、継続的、計画的かつ民主的な運営をされている成人団体へ、事業実施に関わる経費の補助を行う。（ジュニア活動事業） 				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼体育団体活動事業補助 体育協会加盟団体 20団体、ジュニアスポーツ団体 5団体、その他スポーツ団体 3団体 ▼スポーツ大会参加補助 全国・関東大会出場 26件 ▼ジュニアスポーツ活動事業補助 スポーツクラブ 87団体 	数年前に比べ、全国大会等への出場件数が多くなってきている。日頃の支援が選手の技術力向上につながっていると考えられる。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼体育団体活動事業補助 体育協会加盟団体 19団体、ジュニアスポーツ団体 5団体、その他スポーツ団体 3団体 ▼スポーツ大会参加補助 全国・関東大会出場 24件 ▼ジュニアスポーツ活動事業補助 スポーツクラブ 89団体 	府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツ団体の支援や、スポーツ活動の充実を図るための支援を行う。

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼体育団体活動事業補助 体育協会加盟団体 19団体、ジュニアスポーツ団体 5団体、その他スポーツ団体 4団体 ▼スポーツ大会参加補助 全国・関東大会出場 23件 ▼ジュニアスポーツ活動事業補助 スポーツクラブ 85団体 	変動はあるものの、ここ数年、全国大会等への出場件数が多くなってきている。日頃の支援が選手の技術力向上につながっていると考えられる。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼体育団体活動事業補助 体育協会加盟団体 19団体、ジュニアスポーツ団体 5団体、その他スポーツ団体 4団体 ▼スポーツ大会参加補助 全国・関東大会出場 24件 ▼ジュニアスポーツ活動事業補助 スポーツクラブ 86団体 	府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツ団体の支援や、スポーツ活動の充実を図るための支援を行う。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	補助金を交付することで、市民等の負担が軽減され、スポーツのしやすい環境づくりが図られている。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度		
体育団体活動事業補助金交付団体数	27	計画値	当初値	27	27	27	27	ジュニアスポーツ活動事業補助金の団体数の減少は、市内在住のクラブ員が10名に満たない団体が出てきているためである。
		計画値	補正值	-	-	-	28	
	団体	実績	29	28	28	-	-	
ジュニアスポーツ活動事業補助金交付団体数	92	計画値	当初値	92	92	92	92	
		計画値	補正值	-	90	89	86	
	団体	実績	88	87	85	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	6,070,000	5,993,000	5,604,000	5,325,000	5,207,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	4,000,000	0	0	0	0	0
一般財源	2,070,000	5,993,000	5,604,000	5,325,000	5,207,000	0
予算現額	6,070,000	5,993,000	5,604,000	5,325,000	0	0
決算額	5,734,800	5,807,104	5,456,316	5,204,009	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,734,800	5,807,104	5,456,316	5,204,009	0	0
執行率	94.5%	96.9%	97.4%	97.7%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.75	0.76	0.85	0.85		
職員人件費	6,031,242	5,749,971	6,622,557	6,623,628		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	161,153	189,400	195,383	202,779		
総コスト	11,927,195	11,746,475	12,274,256	12,030,416	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
<ul style="list-style-type: none"> 市民を対象に実施する事業に対して、実施団体の負担を軽減し、市民が軽負担で参加できるように事業費の一部を補助することにより、スポーツ活動参加の機会を増やしている 全国大会・関東大会に出場する高校生以下の団体及び個人の交通費・宿泊費を補助し、費用負担の軽減を図ることにより、選手の技術力向上を図っている。 ジュニアスポーツクラブの年間活動事業に対して補助を行うことにより、保護者の負担を軽減し各クラブの自主活動の推進を図っている。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
府中市体育協会並びに各競技団体等と連携を密にし、情報収集に努めていく。

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	35	10	1647000	補助金 体育団体活動事業費	2,367,000	2,356,000	2,249,000
2	01	50	35	10	1648000	補助金 スポーツ大会参加	840,000	752,409	840,000
3	01	50	35	10	1649000	補助金 ジュニアスポーツ活動事業費	2,118,000	2,095,600	2,118,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							5,325,000	5,204,009	5,207,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	総合体育館管理運営事業			事務事業コード	30500100
概要	総合体育館の管理及び運営				
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
	施策	50	スポーツ環境の整備	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	昭和46年度～	見直しの裁量
根拠法令等	スポーツ基本法、府中市体育館条例、同施行規則				
市関連事業	府中市スポーツ振興推進計画				
対象	総合体育館				
実施の背景	市民にスポーツ及びレクリエーションの普及を図り、心身の健康と豊かな市民生活の向上に寄与するとともに、総合体育館の適切かつ計画的な維持管理に努め、体育館利用者のスポーツ活動を支援する。				
事業目標	総合体育館を快適に利用できるように整備し、より多くの方々にスポーツへの関心を持っていただく。				
事業内容	様々な屋内スポーツが行える体育室を始め、卓球場やトレーニング室、武道場等を有する総合体育館の適切かつ計画的な維持管理を行うとともに、体育館利用者のスポーツ活動を支援する。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
総合体育館第二体育室へ空調を設置を完了した。第2体育室の壁の補修や給排水配管等の修繕を行った。	空調機器設置により、総合体育館第二体育室の利用環境が向上した。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
総合体育館内の故障箇所を修繕することにより、施設を適切に維持管理していく。	総合体育館を安全、快適に利用できる施設として維持管理していくことで、利用者のスポーツ活動を支援する。	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
総合体育館内の故障箇所を修繕することにより、施設を適切に維持管理した。	総合体育館の安全性や快適性を維持するため、修繕事業等の維持管理を適切に行うことができた。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
総合体育館内の故障箇所を修繕することにより、施設を適切に維持管理していく。	総合体育館を安全、快適に利用できる施設として維持管理していくことで、利用者のスポーツ活動を支援する。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	1 大幅な見直しは必要ない 2 見直しには法令等の改正が必須 3 見直しの必要性はあるが時期尚早 4 現状では見直しが不可能	B
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合	1
	1 休止 2 廃止	
	3 完了	
		現状、当該事務事業は適切に遂行できているため、現状維持とする。

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析	
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
総合体育館の年間利用者数	227,359	計画値	当初値	235,000	235,000	235,000	235,000	基準値よりも28年度実績が多い理由は、体育室を貸し切って行われた各種大会参加人数が大幅に増加したため。	
			補正值	-	-	-	-		平成29年度
	実績	実績	251,402	250,047	250,608	-	-		
-	-	計画値	当初値	-	-	-	-		
			補正值	-	-	-	-		-
-	-	実績	実績	-	-	-	-		

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	118,323,000	144,893,000	166,453,000	161,581,000	279,522,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	31,622,000	30,009,000	30,891,000	31,252,000	82,268,000	0
一般財源	86,701,000	114,884,000	135,562,000	130,329,000	197,254,000	0
予算現額	121,233,000	169,149,000	166,453,000	161,581,000	0	0
決算額	121,010,792	164,849,848	151,608,917	149,797,795	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	31,489,877	31,875,372	33,167,400	32,889,172	0	0
一般財源	89,520,915	132,974,476	118,441,517	116,908,623	0	0
執行率	99.8%	97.5%	91.1%	92.7%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	3.82	3.73	2.80	3.80		
職員人件費	30,558,291	28,366,525	21,815,480	29,611,511		
嘱託員数	0.5	0.5	2	1		
嘱託員人件費	1,619,039	1,675,362	6,538,966	3,217,657		
(間接経費)						
間接経費	923,318	1,059,794	1,103,358	1,145,114		
総コスト	154,111,440	195,951,528	181,066,721	183,772,077	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
総合体育館を快適に利用できるように維持管理してきた。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
施設を適切に維持管理していくには、定期的な修繕の計画、実施が欠かせない。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	35	25	1702000	総合体育館管理運営費 業務運営委託料	26,340,000	25,774,200	25,775,000
2	01	50	35	25	1703000	総合体育館管理運営費 管理委託料	50,041,000	49,269,817	49,589,000
3	01	50	35	25	1704000	総合体育館管理運営費 光熱水費及び燃料費	42,834,000	32,658,941	33,770,000
4	01	50	35	25	1705000	総合体育館管理運営費 諸経費	42,366,000	42,094,837	43,388,000
5	01	50	35	25	1717400	体育館整備事業費 総合体育館天井改修工事費			127,000,000
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							161,581,000	149,797,795	279,522,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	地域体育館管理運営事業			事務事業コード	30500200
概要	地域体育館の管理及び運営				
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
	施策	50	スポーツ環境の整備	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和47年度～	見直しの裁量
根拠法令等	スポーツ基本法、府中市体育館条例、同施行規則				
市関連事業					
対象	市内の地域体育館				
実施の背景	市民が身近なところでスポーツに親しむことにより、心身の健康と豊かな市民生活の向上に寄与するとともに、地域体育館の適切かつ計画的な維持管理に努め、体育館利用者のスポーツ活動を支援する。				
事業目標	地域体育館を快適に利用できるように整備し、より多くの方々にスポーツへの関心をもっていただく。				
事業内容	<p>体育室や会議室等を有する地域体育館は市内に7ヶ所あり、老朽化に伴う施設修繕や関係法令に基づいた点検、清掃業務、警備業務など、適切かつ計画的な維持管理を行う。</p> <p>地域体育館の運営に当たっては、運営協議会の意見を反映しており、団体利用や個人利用だけではなく、スポーツ教室やスポーツ大会等のプログラム、指導者を配置した一般開放を実施している。</p>				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼一般公開延べ利用者数 89,958人 ▼貸切延べ利用者数 ・体育室 77,937人 ・会議室など 55,106人 ▼自主事業延べ利用者数 44,339人	市内に7ヶ所ある地域体育館を、安全に安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用できるように維持管理している。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> 各地域体育館において、運営協議会の開催 一般開放及びスポーツ指導の実施 貸切については、運営において調整を行い、利用団体を決定する。 運営協議会に委託し、地域住民を対象としたニュースポーツ等のスポーツ大会を開催する。 栄町体育館空気調和設備改修工事を行なう。 	地域体育館を安全、快適に安心して利用できる施設として整備、維持管理していく。

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼一般公開延べ利用者数 95,649人 ▼貸切延べ利用者数 ・体育室 76,532人 ・会議室など 52,690人 ▼自主事業延べ利用者数 44,610人 ▼栄町体育館空気調和設備及び押立体育館外壁・屋上等防水改修工事を行った。	市内に7ヶ所ある地域体育館を、安全に安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用できるように維持管理している。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> 各地域体育館において、運営協議会の開催 一般開放及びスポーツ指導の実施 貸切については、運営において調整を行い、利用団体を決定する。 運営協議会に委託し、地域住民を対象としたニュースポーツ等のスポーツ大会を開催する。 本宿体育館及び白糸台体育館の天井等改修工事を行う。 	地域体育館を安全、快適に安心して利用できる施設として整備、維持管理していく。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	今後も老朽化が進む地域体育館を快適に利用できるようにするため、計画的に改修を行い維持管理していく。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	3	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
地域体育館の年間利用者数	275,667	計画 当初値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	平成28年度実績値は、基準値より6,186人減となった。
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
	実績	269,241	267,970	269,481	-	-		
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	97,269,000	99,950,000	97,170,000	96,872,000	225,039,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	18,790,000	18,801,000	18,917,000	19,505,000	69,340,000	0
一般財源	78,479,000	81,149,000	78,253,000	77,367,000	155,699,000	0
予算現額	95,838,000	100,889,000	97,170,000	96,872,000	0	0
決算額	94,056,048	99,778,559	95,144,742	93,066,508	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	19,427,148	19,476,117	19,497,943	18,959,786	0	0
一般財源	74,628,900	80,302,442	75,646,799	74,106,722	0	0
執行率	98.1%	98.9%	97.9%	96.1%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	2.11	1.91	1.90	1.90		
職員人件費	16,887,477	14,566,594	14,803,362	14,805,756		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	451,231	479,814	436,740	453,271		
総コスト	111,394,756	114,824,967	110,384,844	108,325,535	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
市内に7か所ある地域体育館を、安全に安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用出来るように維持管理している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
施設を適切に維持管理していくには、定期的な修繕の計画、実施が欠かせない。 また、老朽化が進む市内地域体育館施設の今後の在り方については、公共施設マネジメントの考え方にに基づき検討していく。

6 構成事業一覧

(単位：円)

会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度	
						当初予算額	決算額	当初予算額	
1	01	50	35	25	1665000	地域体育館管理運営費 業務運営委託料	54,510,000	54,574,560	55,055,000
2	01	50	35	25	1666000	地域体育館管理運営費 管理委託料	22,993,000	22,379,348	23,452,000
3	01	50	35	25	1667000	地域体育館管理運営費 光熱水費及び燃料費	14,099,000	11,944,650	12,212,000
4	01	50	35	25	1668000	地域体育館管理運営費 諸経費	5,270,000	4,167,950	4,970,000
5	01	50	35	25	1717160	体育館整備事業費 監理委託料			11,750,000
6	01	50	35	25	1717770	体育館整備事業費 地域体育館天井改修工事費			117,600,000
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							96,872,000	93,066,508	225,039,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	野球場維持管理事業			事務事業コード	30500300
概要	市民野球場の管理及び運営				
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
	施策	50	スポーツ環境の整備	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和25年度～	見直しの裁量
根拠法令等	スポーツ基本法・府中市体育施設条例、同施行規則				
市関連事業					
対象	市内の野球場				
実施の背景	野球場の適切かつ計画的な維持管理に努めるとともに、市民球場においては、高校野球等の大会会場として活動の支援をする。				
事業目標	野球場を快適に利用できるように整備し、多くの野球愛好者の利用増を目指す。				
事業内容	市内の野球場としては、市民球場及び第一・第二野球場があり、市民球場では高校野球東京大会が行われ、また、第一・第二野球場では市民体育大会等の各種大会で利用されており、これらを良好な状態に維持することを目的に、法令にも基づく点検業務やグラウンドの整備を行う。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【利用時時間数】 ▼市民球場 1,529時間 ▼第1野球場 5,661時間 ▼第2野球場 3,338時間	野球場施設を安全、快適に安心して利用できる施設として適切に維持管理した。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
市民球場、第一・第二野球場の貸出しを行う。 また、施設を適切な状態に維持するため、施設管理やスコアボード等の各種設備の保守点検、法令に定める点検業務を委託する。	野球場施設を、安全安心に利用できるよう、施設の整備を行い、快適に利用できるよう維持管理していく。

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【利用時時間数】 ▼市民球場 1,808時間 ▼第1野球場 5,585時間 ▼第2野球場 3,469時間	各野球場を安全安心かつ快適に利用できるよう施設の維持管理を適切に行うことができた。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
市民球場、第一・第二野球場の貸出しを行う。 また、施設を適切な状態に維持するため、老朽化箇所や故障箇所を計画的に修繕していく。	各野球場を安全、快適に利用できる施設として維持管理していくことで、利用者のスポーツ活動を支援する。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	現状、当該事務事業は適切に遂行できているため、大幅な見直しは必要ない。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
野球場の年間利用者数	131,562	計画 当初値	145,000	145,000	145,000	145,000	145,000	平成28年度実績値は、基準値より8,199人増となった。
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
	実績	128,999	132,159	139,761	-	-		
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	61,360,000	63,589,000	60,717,000	62,486,000	58,696,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	16,010,000	18,785,000	17,959,000	18,128,000	16,748,000	0
一般財源	45,350,000	44,804,000	42,758,000	44,358,000	41,948,000	0
予算現額	61,360,000	63,507,000	60,717,000	63,040,000	0	0
決算額	57,993,152	57,055,717	55,028,086	60,315,524	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	16,602,957	18,514,128	15,804,429	16,488,080	0	0
一般財源	41,390,195	38,541,589	39,223,657	43,827,444	0	0
執行率	94.5%	89.8%	90.6%	95.7%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.85	2.15	2.14	2.14		
職員人件費	14,796,646	16,406,585	16,673,260	16,675,956		
嘱託員数	0.5	0.5	0.5	0.5		
嘱託員人件費	1,619,039	1,675,362	1,634,742	1,608,829		
(間接経費)						
間接経費	502,143	665,818	606,839	629,808		
総コスト	74,910,980	75,803,481	73,942,927	79,230,117	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
野球場施設を、安全に安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用出来る様に維持管理している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
施設を適切に維持管理していくには、定期的な修繕の計画、実施が欠かせない。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	35	15	1652000	野球場管理費 管理委託料	40,389,000	37,071,916	40,514,000
2	01	50	35	15	1653000	野球場管理費 光熱水費及び燃料費	15,622,000	13,222,199	13,613,000
3	01	50	35	15	1654000	野球場管理費 諸経費	6,475,000	10,021,409	4,569,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							62,486,000	60,315,524	58,696,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	市民陸上競技場維持管理事業			事務事業コード	30500400
概要	市民陸上競技場の管理及び運営				
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
	施策	50	スポーツ環境の整備	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和25年度～	見直しの裁量
根拠法令等	スポーツ基本法・府中市体育施設条例、同施行規則				
市関連事業					
対象	陸上競技場				
実施の背景	市民陸上競技場の適切かつ計画的な維持管理に努めるとともに、団体利用者及び個人利用者の活動の支援をする。				
事業目標	市民陸上競技場を快適に利用できるように整備し、多くの陸上愛好者の利用増を目指す。				
事業内容	300mトラックのある競技場や会議室を有する市民陸上競技場は、個人利用や団体貸出、市民大会等の各種大会に使用しており、老朽化に伴う施設修繕や関係法令に基づいた点検、清掃業務、警備業務など、適切かつ計画的な維持管理を行う。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
利用状況】 ▼貸切利用 105件、利用時間数 544時間 ▼団体利用 0件、利用時間数 0時間 ▼個人利用者 54,208人	市民陸上競技場を安全、安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用できるように維持管理している。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
貸切での利用、団体及び個人が利用できるよう、貸出を行う。また、施設を適切な状態に維持するため、施設管理や法令に定める点検業務等を委託する。 ・外壁及び屋上防水等改修に伴う実施設計	市民陸上競技場を安全、快適に安心して利用できる施設として整備及び維持管理していく。	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【利用状況】 ▼貸切利用 177件、利用時間数 600時間 ▼団体利用 12件、利用時間数 45時間 ▼個人利用者 55,313人	市民陸上競技場を安全、安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用できるように維持管理している。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
貸切での利用、団体及び個人が利用できるよう、貸出を行う。また、施設を適切な状態に維持するため、施設管理や法令に定める点検業務等を委託する。	市民陸上競技場を安全、快適に安心して利用できる施設として整備及び維持管理していく。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	今後も老朽化が進む市民陸上競技場を快適に利用できるようにするため、計画的な改修を行い維持管理していく。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
陸上競技場の年間利用者数	76,322	計画 当初値	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	平成28年度実績値は、基準値より 8,349人減となった。
		計画 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	実績	55,982	75,181	67,973	-	-		
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	12,599,000	13,149,000	11,754,000	14,200,000	11,538,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	5,308,000	5,407,000	5,594,000	5,301,000	5,570,000	0
一般財源	7,291,000	7,742,000	6,160,000	8,899,000	5,968,000	0
予算現額	12,599,000	13,149,000	11,754,000	14,199,000	0	0
決算額	11,636,293	11,304,876	11,007,756	13,433,896	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	5,722,766	4,649,422	5,861,817	6,236,835	0	0
一般財源	5,913,527	6,655,454	5,145,939	7,197,061	0	0
執行率	92.4%	86.0%	93.7%	94.6%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.15	1.15	1.14	1.14		
職員人件費	9,167,487	8,739,956	8,882,017	8,883,453		
嘱託員数	0.5	0.5	0.5	0.5		
嘱託員人件費	1,619,039	1,675,362	1,634,742	1,608,829		
(間接経費)						
間接経費	351,731	413,285	376,975	391,244		
総コスト	22,774,550	22,133,479	21,901,490	24,317,422	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
市民陸上競技場を、安全に安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用出来るように維持管理している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
施設を適切に維持管理していくには、定期的な修繕の計画、実施が欠かせない。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	15	1655000	市民陸上競技場管理費 管理委託料	7,445,000	7,340,171	7,659,000
2	01	50	35	15	1656000	市民陸上競技場管理費 光熱水費	2,696,000	2,124,390	2,429,000
3	01	50	35	15	1657000	市民陸上競技場管理費 諸経費	4,059,000	3,969,335	1,450,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							14,200,000	13,433,896	11,538,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	庭球場維持管理事業			事務事業コード	30500500
概要	庭球場の管理及び運営				
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
	施策	50	スポーツ環境の整備	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	昭和30年度～	見直しの裁量
根拠法令等	スポーツ基本法・府中市体育施設条例、同施行規則				
市関連事業					
対象	市内の庭球場				
実施の背景	庭球場の適切かつ計画的な維持管理に努めるとともに、クラブ利用及び個人利用者の活動を支援する。				
事業目標	庭球場を快適に利用できるように整備する。				
事業内容	<p>市内に庭球場は15ヶ所あり、クレーコート（市民庭球場、武蔵台庭球場）、全天候型コート（西府庭球場）、人工芝コート（その他12ヶ所）を良好な状態に維持することを目的に、清掃や除草等のコートの整備を行う。</p> <p>なお、市民庭球場、武蔵台・小柳・栄町・平和の森庭球場については、ナイター利用が可能となっている。</p>				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼全天候 利用時間 3,926時間 利用人数 11,964人 ▼クレー 利用時間 13,681時間 利用人数 55,352人 ▼人工芝 利用時間 56,973時間 利用人数 234,460人	市内に15ヶ所ある庭球場を、安全に安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用できるよう維持管理した。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
市内15ヶ所ある庭球場の貸出を行う。 また、施設を適切な状態に維持するため、清掃業務や除草業務を委託により行う。	庭球場を利用者が安心して利用できるよう維持管理していく。

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼全天候 利用時間 3,712時間 利用人数 11,706人 ▼クレー 利用時間 12,005時間 利用人数 42,380人 ▼人工芝 利用時間 70,328時間 利用人数 285,264人	庭球所を安心安全かつ快適に利用できるよう適切に維持管理できた。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
市内15ヶ所ある庭球場の貸出を行う。 また、施設を適切な状態に維持するため、コート整備、清掃業務及び除草業務を行う。	庭球所を安心安全かつ快適に利用できる施設として維持管理していくことで、利用者のスポーツ活動を支援する。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	現状、当該事務事業は適切に遂行できているため大幅な見直しは必要ない。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	3	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
庭球場の年間利用者数	357,778	計画 当初値	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	平成28年度実績値は、若松庭球場改修工事（閉鎖期間平成28年11月～平成29年3月）のため基準値より18,428人減となった。
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
	実績	327,949	301,776	339,350	-	-		
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	26,841,000	26,164,000	26,022,000	26,113,000	25,396,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	26,841,000	26,164,000	26,022,000	26,113,000	25,396,000	0
一般財源	0	0	0	0	0	0
予算現額	27,579,000	27,514,000	26,520,000	26,071,000	0	0
決算額	25,640,457	27,118,242	24,816,095	24,280,686	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	25,640,457	27,118,242	24,816,095	24,280,686	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0
執行率	93.0%	98.6%	93.6%	93.1%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.50	1.40	1.39	1.39		
職員人件費	11,982,067	10,656,613	10,829,828	10,831,579		
嘱託員数	0	0	0.2	0.2		
嘱託員人件費	0	0	653,897	643,531		
(間接経費)						
間接経費	320,160	351,022	365,482	379,316		
総コスト	37,942,684	38,125,877	36,665,301	36,135,113	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果

市内に15か所ある庭球場を、安全に安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用出来るように維持管理している。

今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）

施設を適切に維持管理していくには、定期的な修繕の計画、実施が欠かせない。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	35	15	1658000	庭球場管理費 管理委託料	18,621,000	17,453,329	18,168,000
2	01	50	35	15	1659000	庭球場管理費 光熱水費	4,277,000	3,880,108	4,109,000
3	01	50	35	15	1660000	庭球場管理費 諸経費	3,215,000	2,947,249	3,119,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							26,113,000	24,280,686	25,396,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	運動場維持管理事業			事務事業コード	30500600
概要	運動場の管理及び運営				
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
	施策	50	スポーツ環境の整備	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和45年度～	見直しの裁量
根拠法令等	スポーツ基本法・府中市体育施設条例、同施行規則				
市関連事業					
対象	市内の運動場				
実施の背景	運動場の適切かつ計画的な維持管理に努めるとともに、様々なスポーツ活動の支援をする。				
事業目標	運動場を快適に利用できるように整備し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方々に、スポーツへの関心を持っていただく。				
事業内容	市内の運動場として、調布基地跡地運動施設の野球場、武蔵台運動広場の野球場、住吉地区運動広場の野球場、是政地区運動広場の野球場やソフトボール場、サッカー場、また、利用目的を限定しない小柳町運動広場があり、これらを良好な状態に維持することを目的に、芝の草刈や施設の清掃業務等を行う。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼是政地区ソフトボール場 利用時間 1,054時間、利用者数 13,306人 ▼是政地区一般野球場 利用時間 1,365時間、利用者数 9,631人 ▼調布基地跡地野球場 利用時間 10,572時間、利用者数 139,674人 ▼住吉地区野球場 利用時間 1,490時間、利用者数 9,201人 ▼調布基地跡地サッカー場 利用時間 4,994時間、利用者数 33,900人 ▼是政運動広場 利用時間 1,274時間、利用者数 13,516人 ▼小柳町運動広場 利用時間 2,581時間、利用者数 14,548人 	市内運動場を、安全に安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用できるように維持管理した。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
調布基地跡地、是政地区、住吉地区、小柳町にある各運動場の貸出を行う。 また、施設を適切な状態に維持するため、芝の草刈や施設の清掃業務等を行う。	施設を適切に維持管理していくため、定期的な修繕を実施する。

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼是政地区ソフトボール場 利用時間 1,203時間、利用者数 15,057人 ▼是政地区一般野球場 利用時間 2,151時間、利用者数 15,026人 ▼調布基地跡地野球場 利用時間 10,260時間、利用者数 139,150人 ▼住吉地区野球場 利用時間 2,001時間、利用者数 12,468人 ▼調布基地跡地サッカー場 利用時間 5,278時間、利用者数 62,402人 ▼是政運動広場 利用時間 1,598時間、利用者数 16,798人 ▼小柳町運動広場 利用時間 3,095時間、利用者数 19,050人 	市内の運動施設を安全かつ安心してスポーツ活動が行えるよう、施設の整備を行い快適に利用できるように適切に維持管理を行った。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ・是政地区、調布基地跡地、住吉地区、是政・小柳町運動広場の貸し出しを行う。 ・運動施設を適切な状態で維持するために、保守点検、樹木の剪定・草刈り、ゴミ処理、施設の清掃等を行う。 	運動施設を適切に維持管理していくため、定期的に修繕等を実施する。

平成30年度における事業の位置付け		B	経年劣化により老朽化が進む運動場施設を安全かつ安心な施設として快適に利用できるようにするため、計画的な改修を行い維持管理していく。
A 重点化・拡大して継続			
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない	3	
	2 見直しには法令等の改正が必須		
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早		
	4 現状では見直しが不可能		
C 見直して継続	1 見直し・縮小		
	2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等	1 休止		
	2 廃止		
	3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
運動場の年間利用者数	283,926	計画値 当初値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	平成28年度実績値は、基準値より 3,975人減となった。
		計画値 補正值	-	-	-	-	-	
	実績	309,434	233,776	279,951	-	-		
	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-		

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	23,481,000	25,632,000	26,981,000	28,564,000	25,616,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	97,000	117,000	125,000	147,000	136,000	0
一般財源	23,384,000	25,515,000	26,856,000	28,417,000	25,480,000	0
予算現額	23,331,000	25,611,000	27,087,000	30,810,000	0	0
決算額	22,400,641	25,186,061	24,435,145	30,480,267	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	127,842	533,705	133,671	103,555	0	0
一般財源	22,272,799	24,652,356	24,301,474	30,376,712	0	0
執行率	96.0%	98.3%	90.2%	98.9%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	2.63	2.33	2.31	2.31		
職員人件費	20,988,721	17,709,911	17,997,771	18,000,682		
嘱託員数	0	0	0.2	0.2		
嘱託員人件費	0	0	653,897	643,531		
(間接経費)						
間接経費	560,818	583,352	576,956	598,794		
総コスト	43,950,180	43,479,324	43,663,769	49,723,274	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
運動広場で安全に安心してスポーツ活動が行えるよう、施設の整備を行い、快適に利用出来るように維持管理している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
施設を適切に維持管理していくには、定期的な修繕の計画、実施が欠かせない。

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	15	1669000	運動場管理費 管理委託料	21,992,000	22,252,902	21,805,000
2	01	50	35	15	1670000	運動場管理費 光熱水費	531,000	419,811	465,000
3	01	50	35	15	1671000	運動場管理費 諸経費	5,594,000	7,409,589	2,920,000
4	01	50	35	15	1672000	ゲートボール場管理費 管理委託料	311,000	286,964	294,000
5	01	50	35	15	1673000	ゲートボール場管理費 光熱水費	48,000	47,778	48,000
6	01	50	35	15	1674000	ゲートボール場管理費 諸経費	88,000	63,223	84,000
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							28,564,000	30,480,267	25,616,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	サッカー場維持管理事業			事務事業コード	30500700
概要	サッカー場の管理及び運営				
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
	施策	50	スポーツ環境の整備	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	昭和44年度～	見直しの裁量
根拠法令等	スポーツ基本法・府中市体育施設条例、同施行規則				
市関連事業					
対象	市内のサッカー場				
実施の背景	サッカー場の適切かつ計画的な維持管理に努めるとともに、少年サッカーの都大会等の開場として支援を行う。				
事業目標	サッカー場を快適に利用できるように整備し、より多くのサッカー愛好者の利用者増を目指す。				
事業内容	市内のサッカー場として、市民サッカー場（2面）、朝日サッカー場（1面）があり、良好な状態に維持することを目的に、フィールド面の整備を行うとともに、朝日サッカー場の管理等の法令に基づく点検業務や鍵開閉、警備業務等を行う。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【利用状況】 ▼市民サッカー場 利用時間 2,954時間、利用者数 45,238人 ▼朝日サッカー場 利用時間 2,963時間、利用者数24,154人	サッカー場施設を、安全に安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用できるように維持管理した。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
市民サッカー場及び朝日サッカー場の貸出しを行う。 また、施設を適切な状態に維持するため、グラウンド整備や法令に定める点検業務を委託する。	サッカー場を安全、快適に安心して利用できる施設として維持管理していく。	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【利用状況】 ▼市民サッカー場 利用時間 2,770時間、利用者数 42,632人 ▼朝日サッカー場 利用時間 2,309時間、利用者数 12,172人	サッカー場を安全、快適に安心して利用できる施設として維持管理できた。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
市民サッカー場の貸出しを行う。 また、施設を適切な状態に維持するため、グラウンド整備や法令に定める点検業務を実施する。 朝日サッカー場は、ラグビーワールドカップ2019公認キャンプ地及び東京2020オリンピック・パラリンピックのキャンプ地として整備する。	サッカー場を安全、快適に安心して利用できる施設として維持管理することで、利用者のスポーツ活動を支援していく。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	A	朝日サッカー場をラグビーワールドカップ2019公認キャンプ地及び東京2020オリンピック・パラリンピックのキャンプ地として整備するため、重点化して取組む。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
サッカー場の年間利用者数	36,125	計画値	当初値	40,000	40,000	40,000	40,000	平成28年度実績値は、基準値より18,679人増となった。
			補正值	-	-	-	-	
	人	実績	57,119	69,392	54,804	-	-	
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	
			補正值	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	39,900,000	31,770,000	31,593,000	30,970,000	72,033,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	3,535,000	3,493,000	4,106,000	3,781,000	2,963,000	0
一般財源	36,365,000	28,277,000	27,487,000	27,189,000	69,070,000	0
予算現額	39,446,000	31,770,000	31,593,000	30,641,000	0	0
決算額	30,220,041	30,194,637	27,474,704	26,827,884	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	4,927,619	3,712,609	3,437,748	3,236,599	0	0
一般財源	25,292,422	26,482,028	24,036,956	23,591,285	0	0
執行率	76.6%	95.0%	87.0%	87.6%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.45	1.35	1.34	1.34		
職員人件費	11,579,984	10,273,282	10,440,266	10,441,954		
嘱託員数	0	0	0.2	0.2		
嘱託員人件費	0	0	653,897	643,531		
(間接経費)						
間接経費	309,415	338,395	353,989	367,388		
総コスト	42,109,440	40,806,314	38,922,855	38,280,757	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
サッカー場を安全に安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用出来るように維持管理している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
施設を適切に維持管理していくには、定期的な修繕の計画、実施が欠かせない。 朝日サッカー場は、ラグビーワールドカップ2019公認キャンプ地及び東京2020オリンピック・パラリンピックのキャンプ地として整備を行い、適切な維持管理を行う。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	15	1678000	サッカー場管理費 管理委託料	26,858,000	23,897,965	22,724,000
2	01	50	35	15	1679000	サッカー場管理費 光熱水費及び燃料費	3,126,000	2,106,399	2,669,000
3	01	50	35	15	1680000	サッカー場管理費 諸経費	986,000	823,520	46,640,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							30,970,000	26,827,884	72,033,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	プール管理運営事業			事務事業コード	30500800
概要	市民プールの管理及び運営				
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
	施策	50	スポーツ環境の整備	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和28年度～	見直しの裁量
根拠法令等	スポーツ基本法・府中市体育施設条例、同施行規則				
市関連事業					
対象	市内のプール及び水遊び場				
実施の背景	夏休み期間限定の施設であるが、適切かつ計画的な維持管理に努め、利用者の憩いの場所を提供する。				
事業目標	市民プールを快適に利用できるように整備し、多くの入場者の安全利用を目指す。				
事業内容	夏休み期間に限定して開放する市内のプールとしては、総合プールや5ヶ所ある地域プール、ナイター利用ができる市民プール、幼児を対象とした美好水遊び広場があり、広く市民の憩いの場、地域コミュニティの場として、市内プールを安全に快適に利用していただくために、水質管理や事故発生に備えた適切な措置等を行う。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【開催日数】 総合プールは45日、その他のプールは38日 【利用状況】 ▼市民プール 利用者数 10,747人 ▼美好水遊び広場 利用者数 10,864人 ▼総合プール 利用者数 80,508人 ▼地域プール 利用者数 32,370人	市内に8ヶ所あるプール及び水遊び広場を、安全に安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用できるように維持管理している。 総合プールではウォータースライダーの改修工事を行い安全安心、快適に利用できるよう維持管理した。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
各プールを夏休み期間に開放し、市民が安全に利用できるよう、水質状況を良好に保つことや事故に備えた業務を委託する。 ・市民プール循環濾過機濾材交換修繕 ・総合プール手摺塗装修繕	プールを安全、快適に安心して利用できる施設として維持管理していく。適切に維持管理していくには修繕計画の検討、実施が欠かせないが、公共施設マネジメントの考え方にに基づき、施設のあり方や類似施設との共用などについても検討していく。

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【開催日数】 総合プールは47日、その他のプールは38日 【利用状況】 ▼市民プール利用者数 9,273人 ▼美好水遊び広場利用者数 10,771人 ▼総合プール利用者数 77,198人 ▼地域プール利用者数 30,287人 ▼市民プール循環濾過機濾材交換修繕及び消防用採水口配管取替修理、総合プール手摺塗装修繕を行った。	プールを安全、快適に安心して利用できる施設として維持管理できた。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
各プールを夏休み期間に開放し、市民が安全に利用できるよう、水質状況を良好に保つことや事故に備えた業務を適切に行う。	プールを安全、快適に安心して利用できる施設として維持管理していくことで、利用者のスポーツ活動を支援していく。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	現状、当該事務事業は適切に遂行できているため、大幅な見直しは必要ない。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
プールの年間利用者数	160,216	計画 当初値	165,000	165,000	165,000	165,000	165,000	平成28年度実績値は、基準値より31,825人減となった。 8月後半の天候不順が原因と考えられる。
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
	実績	128,832	134,489	128,391	-	-		
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-		

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	123,335,000	122,476,000	123,443,000	136,374,000	116,776,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	19,493,000	19,804,000	17,649,000	17,825,000	18,412,000	0
一般財源	103,842,000	102,672,000	105,794,000	118,549,000	98,364,000	0
予算現額	122,948,000	161,824,000	122,839,000	132,383,000	0	0
決算額	113,635,562	154,423,348	115,957,765	125,456,531	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	19,164,754	15,862,807	16,644,047	14,703,476	0	0
一般財源	94,470,808	138,560,541	99,313,718	110,753,055	0	0
執行率	92.4%	95.4%	94.4%	94.8%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.15	1.15	1.14	1.14		
職員人件費	9,167,487	8,739,956	8,882,017	8,883,453		
嘱託員数	0	0	0.2	0.2		
嘱託員人件費	0	0	653,897	643,531		
(間接経費)						
間接経費	244,955	287,887	308,016	319,675		
総コスト	123,048,004	163,451,191	125,801,695	135,303,191	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
市内に8箇所あるプール及び水遊び広場を、安全に安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用出来るように維持管理している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
施設を適切に維持管理していくには、定期的な修繕の計画、実施が欠かせない。 また、老朽化が進む市内プール施設の今後の在り方については、公共施設マネジメントの考え方にに基づき検討していく。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	15	1661000	プール管理運営費 業務運営委託料	82,892,000	72,951,642	75,810,000
2	01	50	35	15	1662000	プール管理運営費 管理委託料	8,302,000	8,216,490	8,248,000
3	01	50	35	15	1663000	プール管理運営費 光熱水費	22,678,000	18,283,980	20,334,000
4	01	50	35	15	1664000	プール管理運営費 諸経費	22,502,000	26,004,419	12,384,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							136,374,000	125,456,531	116,776,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	体育施設整備事業			事務事業コード	30500900
概要	体育施設の改修に伴う設計及び工事				
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
	施策	50	スポーツ環境の整備	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等	スポーツ基本法・府中市体育施設条例、同施行規則・府中市体育館条例、同施行規則				
市関連事業					
対象	市内のスポーツ施設				
実施の背景	市内体育施設の修繕・大規模工事を計画的に実施する。				
事業目標	老朽化した市内体育施設を快適に利用できるように整備し、より多くの方々に安心・安全な施設として利用していただく。				
事業内容	体育館やプール、野球場、陸上競技場など、市内スポーツ施設を安全、快適に安心して利用していただける状態に維持するため、修繕計画等に基づき、老朽化した施設及び設備の大規模改修を計画的に実施する。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> 小柳庭球場改修工事 郷土の森総合プールウォータースライダー改修工事 	小柳庭球場や郷土の森総合プールウォータースライダー等の老朽化したスポーツ施設を改修するなどし、安全安心、快適に利用できる施設として適切に維持管理できた。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)	
<ul style="list-style-type: none"> 若松庭球場改修工事 栄町体育館空調設備改修工事 総合体育館第1体育室耐震調査事業 総合体育館第2体育室天井改修実施設計業務 	市内スポーツ施設を、安全、快適に安心して利用できる施設として整備していく。老朽化が進む市内スポーツ施設を快適に利用できるようにするためには、大規模改修等の整備時期を視野に入れ計画的に進めなければならない。	
H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> 若松庭球場改修工事を実施した。 押立体育館外壁及び屋上防水等改修工事を実施した。 栄町体育館空調設備改修工事を実施した。 総合体育館第1体育室耐震調査事業を実施した。 総合体育館第2体育室天井改修実施設計業務を実施した。 	市内スポーツ施設を、安全、快適に安心して利用できる施設として整備できた。老朽化が進む市内スポーツ施設を快適に利用できるように、計画的に改修事業等を実施することができた。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> 朝日サッカー場芝生改良委託 朝日サッカー場フェンス設置工事 朝日サッカー場グラウンド外周路整備ほか工事 本宿体育館天井等改修工事 白糸台体育館天井等改修工事 総合体育館第2体育室天井改修工事 	市内スポーツ施設を、安全、快適に安心して利用できる施設として整備していく。老朽化が進む市内スポーツ施設を快適に利用できるようにするためには、大規模改修等の整備時期を視野に入れ計画的に進めていく。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	現状、当該事務事業は適切に実施できているため、大幅な見直しは必要ない。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
体育施設の年間利用者数	1,558,058	計画 当初値	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000	平成28年度実績値は、平成24年度の基準値より20,599人減となった。
		計画 補正值	-	-	-	-	
	実績	1,537,210	1,495,290	1,537,459	-	-	
	-	計画 当初値	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	35,780,000	76,640,000	129,600,000	144,292,000	322,400,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	55,100,000	80,000,000	65,000,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	22,800,000	0	0	0	150,000,000	0
一般財源	12,980,000	21,540,000	49,600,000	79,292,000	172,400,000	0
予算現額	34,486,000	88,590,000	129,600,000	130,092,000	0	0
決算額	32,119,500	83,178,360	112,768,200	125,146,080	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	47,000,000	37,600,000	49,900,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	40,000,000	0	0	0
一般財源	32,119,500	36,178,360	35,168,200	75,246,080	0	0
執行率	93.1%	93.9%	87.0%	96.2%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.94	0.43	0.43	0.43		
職員人件費	7,478,740	3,296,650	3,350,234	3,350,776		
嘱託員数	0	0	0.2	0.2		
嘱託員人件費	0	0	653,897	643,531		
(間接経費)						
間接経費	199,830	108,588	144,813	150,295		
総コスト	39,798,070	86,583,598	116,917,144	129,290,683	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
市内スポーツ施設を安全に安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用できるように維持管理している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
市内スポーツ施設を快適に利用出来る様にするためには、大規模改修等の整備時期を視野に計画的に進めなければならない。また、老朽化が進む市内スポーツ施設の今後の在り方については、公共施設マネジメントの考え方にに基づき検討していく。

6 構成事業一覧

(単位：円)

会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額	
						当初予算額	決算額		
1	01	50	35	15	1688000	体育施設整備事業費 設計委託料	6,848,000	5,184,000	
2	01	50	35	15	1693000	体育施設整備事業費 庭球場改修工事費	42,500,000	41,364,000	
3	01	50	35	15	1697110	体育施設整備事業費 朝日サッカー場改修費			320,400,000
4	01	50	35	15	1699000	体育施設整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
5	01	50	35	25	1701200	総合体育館耐震診断調査費	12,042,000	7,754,400	
6	01	50	35	25	1717050	体育館整備事業費 調査委託料	170,000	449,280	
7	01	50	35	25	1717150	体育館整備事業費 設計委託料	28,532,000	18,338,400	
8	01	50	35	25	1717950	体育館整備事業費 地域体育館空調和設備改修工事費	5,300,000	5,184,000	
9	01	50	35	25	1717960	体育館整備事業費 地域体育館屋上等改修工事費	46,900,000	46,872,000	
10	01	50	35	25	1729000	体育館整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							144,292,000	125,146,080	322,400,000

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	グラウンド管理所維持管理事業			事務事業コード	30501000
概要	グラウンド管理所の管理及び運営				
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
	施策	50	スポーツ環境の整備	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和48年度～	見直しの裁量
根拠法令等	スポーツ基本法・府中市体育施設条例、同施行規則				
市関連事業					
対象	グラウンド管理所				
実施の背景	グラウンド管理所の適切かつ計画的な維持管理に努める。				
事業目標	グラウンド管理所を安心・快適に利用できるように整備し、利用者増を目指す。				
事業内容	会議室及び職員の事務室のあるグラウンド管理所を良好な状態に維持することを目的に、法令に基づく点検業務や警備業務等を行う。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼利用状況 和室(10畳) 利用回数 3回 和室(12畳) 利用回数 44回 ▼施設管理業務委託、警備業務委託	1階は市内のスポーツ施設の現場を管理する職員の事務所、2階の会議室は府中市体育協会の事務所として機能している。また、2階の和室(10畳、12畳)は一般開放している。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
会議室の貸出を行うとともに、施設を適切な状態に維持するため、清掃業務や法令に定める点検業務等を委託する。 また、老朽化が進んでいることから、施設の存続について公共施設マネジメントの考え方を基本に施設の機能の移転及び廃止を検討する。	府中市のスポーツ施設を管理する職員の事務所及び関係団体の事務所として今後も必要な施設であるが、老朽化が進んでいることから、施設の存続について公共施設マネジメントの考え方を基本に施設の機能の移転及び廃止を検討する。

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 D 休止・廃止等
▼利用状況 和室(10畳) 利用回数 6回 和室(12畳) 利用回数 39回 ▼施設管理業務委託、警備業務委託	1階は市内のスポーツ施設の現場を管理する職員の事務所、2階の会議室は府中市体育協会の事務所として機能している。また、2階の和室(10畳、12畳)は一般開放している。なお、平成29年3月31日で廃止するため、必要な手続きを行った。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	D	平成28年度に施設の存続について公共施設マネジメントの考え方を基本に施設の機能の移転及び廃止を検討し、機能の一部を他の施設へ移転し、施設は平成29年3月31日に廃止した。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	2	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
グラウンド管理事務所の年間 利用者数	1,437	計画 当初値	2,500	2,500	2,500	2,500	平成28年度実績値は、基準値より 915人減となった。 利用団体が減ったことによる利用 者減と思われる。
		計画 補正值	-	-	-	-	
	実績	469	322	522	-	-	
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	6,145,000	6,252,000	5,908,000	5,943,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	57,000	63,000	58,000	44,000	0	0
一般財源	6,088,000	6,189,000	5,850,000	5,899,000	0	0
予算現額	6,213,000	6,306,000	5,908,000	5,952,000	0	0
決算額	5,846,121	5,944,407	5,832,517	5,682,803	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	42,600	29,500	28,150	29,607	0	0
一般財源	5,803,521	5,914,907	5,804,367	5,653,196	0	0
執行率	94.1%	94.3%	98.7%	95.5%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.52	0.52	0.52	0.52		
職員人件費	4,181,661	3,986,647	4,051,446	4,052,102		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	111,733	131,316	119,528	124,053		
総コスト	10,139,515	10,062,370	10,003,491	9,858,958	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
市内スポーツ施設の現場を管理する職員の事務所、及び府中市体育協会の事務所として機能している。 2階和室（10畳、12畳）を一般開放している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
府中市のスポーツ施設を管理する職員の事務所及び関係団体の事務所として今後も必要な施設であるが、老朽化が進む中、施設の存続について公共施設マネジメントの考え方を基本に施設の機能の移転及び廃止を検討し、一部の機能を他の施設へ移転した。

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	15	1675000	グラウンド管理所管理費 管理委託料	4,606,000	4,474,895	
2	01	50	35	15	1676000	グラウンド管理所管理費 光熱水費及び燃料費	800,000	690,353	
3	01	50	35	15	1677000	グラウンド管理所管理費 諸経費	537,000	517,555	
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							5,943,000	5,682,803	

事務事業評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 事務事業の概要

事務事業名	学校開放運営事業			事務事業コード	30501100
概要	市民が身近な場所でスポーツ活動を行えるよう、施設の提供等を図る。				
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
	施策	50	スポーツ環境の整備	事業類型	法定事業・任意事業混在
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和52年度～	見直しの裁量
根拠法令等	スポーツ基本法・学校教育法・社会教育法・府中市立学校施設使用条例				
市関連事業					
対象	市民				
実施の背景	スポーツ基本法等に基づき、学校教育に支障のない範囲で施設を有効活用する。				
事業目標	市民が身近な場所でスポーツ活動ができるよう、学校開放事業を推進し、より積極的な「スポーツの生活化」を図る。				
事業内容	学校における体育館及び校庭の施設を、通常利用されていない土・日曜日や夜間の時間帯において、市内団体がスポーツ活動が行えるよう、利用開放を行う。				

2 事業計画・評価

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【利用状況】 ▼体育館 実施校数 33校、利用クラブ 316クラブ ▼校庭 実施校数 25校、利用クラブ 65クラブ 【施設・物品管理】 ▼フロアモップ・サイドベルトなどの消耗品の購入 ▼体育館・校庭の照明補修 (3校)	学校教育に支障のない範囲で開放を行った。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の具体的な取組 (Plan)	H28年度の方向性 (Plan)
▼フロアモップ (120枚) ・グラウンド用ブラシ (8本) などの消耗品の購入 ▼体育館・校庭の学校開放用物品の補修 (33校)	引き続き、学校教育に支障のない範囲で開放を実施する。

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【利用状況】 ▼体育館 実施校数 33校、利用クラブ 315クラブ ▼校庭 実施校数 25校、利用クラブ 64クラブ 【施設・物品管理】 ▼フロアモップ・ライティングカードなどの消耗品の購入 ▼体育館の窓ガラス補修など施設の修繕	学校教育に支障のない範囲で開放を行った。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
▼フロアモップ (35本) ・フロアモップスペア (70枚) ・グラウンド用ブラシ (9本) などの消耗品の購入 ▼体育館・校庭の学校開放用物品の補修 (33校)	引き続き、学校教育に支障のない範囲で開放を実施する。

平成30年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	地域の有効なスポーツ施設として、学校体育館・校庭を学校教育に支障のない範囲で開放することにより、地域のスポーツ振興に寄与できている。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
学校(体育館・校庭)開放 利用団体数	400	計画 当初値	400	410	410	410	410	体育館の利用率がほぼ一杯になっていることから、今後大きく利用団体数が増加することはないものと考えられる。また、平成27年度の利用人数の減少は、体育館の工事に伴い利用できない期間が発生したためである。
		計画 補正值	-	-	-	400	平成29年度	
	実績	382	381	379	-	-		
学校(体育館・校庭)開放 利用人数	520,000	計画 当初値	520,000	521,000	521,000	522,000	522,000	
		計画 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	実績	529,902	481,950	544,241	-	-		

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	3,788,000	3,701,000	3,455,000	3,443,000	2,284,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,788,000	3,701,000	3,455,000	3,443,000	2,284,000	0
予算現額	3,501,000	3,701,000	2,955,000	2,167,000	0	0
決算額	2,492,071	3,157,974	1,012,285	1,002,176	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,492,071	3,157,974	1,012,285	1,002,176	0	0
執行率	71.2%	85.3%	34.3%	46.2%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.15	0.15	0.15	0.15		
職員人件費	1,206,248	1,149,994	1,168,686	1,168,875		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	32,230	37,880	34,479	35,784		
総コスト	3,730,549	4,345,848	2,215,450	2,206,835	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
地域の有効なスポーツ施設として、学校体育館・校庭を学校教育に支障のない夜間に開放することにより、地域のスポーツ振興に寄与している。
今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・市立の学校施設に加え、市内企業や大学施設の開放を目指したい。 ・利用者のマナー・モラルについて指摘される面が多いため、利用マナーの向上を目指していく。 ・市内企業及び大学等との協働事業として、施設の有効利用を検討していく。 ・受益者負担の検討。

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H28年度		H29年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	1643000	学校開放運営費	3,443,000	1,002,176	2,284,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							3,443,000	1,002,176	2,284,000